

農作業を続けることで、 農村風景を守りたい。



大津耕太

南阿蘇の百笑農家

— 農業を始めたきっかけは？

小さい頃よく祖父の家に遊びに来て、裏の川や田んぼとかで遊んでいたんです。農業とか農家に対するいいイメージ、いい思い出はずっと持っていました。その自然がどんどん失われていくのを何とかできないか、都市計画で生かせないかと思って大

学に行き、留学もしました。阿蘇の風景は自然がきれいだと言うけど、ほとんど農地なんです。農作業をすることで、この風景は作られています。それがわかって、自分はルーツと基盤がここにあるし、農村景観を

守っていかうという志を持って、農業をやろうと思いました。

— 実際農業をやってみて。

思ったより大変じゃない(笑)。今、五年目ですが、本当のおもしろさかわかってきました。真夏には昼寝ができた、時間が自然の理にかなって

絶対職人主義! 〜己の腕に賭ける!!〜 Part 4

職人には使命感がある。経済至上主義、競争社会の価値観が限界にきている今だからこそ、彼らの生き方にはヒントがある。自然と共存する素晴らしさ、自分で物を創る喜び、ゆとりと豊かさがある生活。「職人はかっこいい!」と少しでも思ったら、僕らも何かができるはず。自分を信じ、一歩でも前に進んでみよう!!



光り輝く無農薬のお米、おいしいの

撮影◎ワカバヤシヒデキ

YJ流 生き方 探し大特集 !! PART-6

これか僕らの生きる道!!

働く いたるキング

— 農業を始めるには?

農業に入る決まった道はありません。決まった道はないけれども、道はないというはある。でも結局、大事なのは田舎に住むこと。そこでできる限りのことを知恵を絞って体を動かしてする。そうすると、周りからの信頼も集まって物心両面でサポートしてくれたりするんです。あとは、あいさつとか基本的なことが大事ですよ。

— 日本の現状に一言。

選択肢が多いほうが豊かだから、僕はフリーターはいいと思う。色々な職につきチャンスがあつて、伸びしろがあるわけじゃないです

か。もちろん目標や夢が大事になってくるけど、逆にそれらがなくて、ただ仕事だけが目的になっちゃうとつらいですよ。

— 今後の抱負は?

作物は確かに作るのに手間がかかるでも、その手間をかけるプロセスに対して、お金を払ってくれると考えると、仕事もまた頑張れるし手を抜けない。農作業自体に先人たちの知恵や技術が入っているから、ちゃんと説明できるようにになりたいなと思います。あと、農家は生涯現役なので完全燃焼ですね(笑)

PROFILE

熊本県出身。31歳。大学卒業後、ミを1る。景観計画米である。赤牛も育てる。双子の父親でもある。

雄大な阿蘇山のふもとで毎日農業にいそむ。